

2022年6月22日

小泉博昭 外国出張はつらいよ（思い出の輸出ビジネス）

JokeSite :

某重工業メーカーで、

3年間工場勤務

1年間英国留学

15年海外輸出業務

5年半米国駐在

その後脱サラして28年間海外業務

経験の中から幾つか Topic を Clip してみました。

【北米編】

「USA」

* LA 空港内カウンターで Coors ビールを注文、出てきたのは Bud(Budweiser)でした。

何故？

Coors とは聞き取れず、Beer なら Bud を出せば OK という事らしい。

* Chicago 出張中、空港 Taxi に {Alerton Hotel} と告げたが、{Marriott} に到着。

何故？

{Alerton} を Ale-rtton, AlaTon, Flurton, Alerto-n いろいろ繰り返したが、聞き取れなかったのかも？

* 次の Chicago 出張中、{Marriott} に向かったが直前で大混乱。

何故？

{Marriott} が見える登り坂の途中の右側の

{Burger King} 内の賊と警察とが銃撃戦の最中でした。

* 日本からのコンテナ荷物が Long Beach 港到着後 LA の倉庫に配送中、盗難に遭い、暫くすると某 Agent がやってきて、“Invoice 金額の 60% を払ってくれれば、荷物が戻るよう交渉する”と話があり、弁護士と相談し、支払うことにしたら、そっくり荷物が倉庫に(戻って)入って来た。

USA ではよくある話らしい。

* 製品を売って B/L 添付して Invoice を発行し、小切手が郵送されて来るまでが販売の仕事ですが、稀にお客が倒産したり、夜逃したり、唯々支払遅延したり、する事があって、危ない、と情報が入ったり、決算が悪かったりしたら、所謂 {Servicer} (上場している会社もあって) に前以て当該 Invoice を 7~8 掛けで売って換金する仕組みがあり、何度か活用したことがありました。

New York 本社の取引相手は大手ばかりなので、その様な仕組みに興味が無かった。私の事業部のみが他の日本メーカー、特に大手商社に教えて貰って活用せざるを得なかった。

(日本でもバブル崩壊後、1990年代住専債権焦げ付きで政府が組織化して資金回収した事がありました)